

# 審査員からのコメント

本研究は、地域のまちづくりについて、行政と地元住民の認識にズレがあるのではないか？という仮説から、令和元年度に伊予市で行われた社会実験を対象として、市担当者への聞き取りで行政の目的を明らかにした後、地元住民へのアンケート調査を実施して住民の認識の特徴を分析し「見える化」した点が評価できる。さらに、調査結果を基に、3つの具体的な政策を提案しているが、これらは行政の目的と地元住民の認識を尊重したものであることから、今後は、これらの提案が行政や地域のステークホルダーとの協働の中で、次回の社会実験に活用されるよう継続的な活動を期待する。

